

令和4年度事業実績について
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 事業活動概況

県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取り組んだ。

また、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取り組み等を推進した。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施した。

主な健（検）診・検査

(単位：件)

| 項 目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|-----------------|---------------|---------------|-----------|
| 特定健康診査 | 20,047 | 19,716 | 331 |
| 特定保健指導 | 326 | 375 | △ 49 |
| 胸部X線検査（結核検診を含む） | 57,867 | 59,876 | △ 2,009 |
| がん検診 | 86,383 | 91,567 | △ 5,184 |
| 胃がん検診 | 10,997 | 11,618 | △ 621 |
| 肺がん検診 | 30,908 | 32,156 | △ 1,248 |
| 肺がんCT検診 | 11,564 | 11,940 | △ 376 |
| 大腸がん検診 | 13,271 | 13,160 | 111 |
| 子宮頸がん検診 | 7,697 | 9,215 | △ 1,518 |
| 乳がん検診 | 5,494 | 7,137 | △ 1,643 |
| 前立腺がん検診 | 6,452 | 6,341 | 111 |
| 胃がんリスク検査 | 1,897 | 1,714 | 183 |
| 腹部超音波検診 | 904 | 858 | 46 |
| 骨粗鬆症検診 | 1,287 | 1,219 | 68 |
| 合 計 | 168,711 | 175,325 | △ 6,614 |

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、労働者の健康増進に取り組んだ。

主な健（検）診・検査

(単位；件)

| 項 目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|-----------------|---------------|---------------|-----------|
| 特定健康診断 | 867 | 887 | △ 20 |
| 特定保健指導 | 729 | 656 | 73 |
| 胸部X線検査（結核検診を含む） | 62,733 | 62,210 | 523 |
| 一般健康診断（協会けんぽ含む） | 62,317 | 62,245 | 72 |
| 特殊健康診断 | 5,149 | 4,748 | 401 |
| 指導勧奨による健康診断 | 1,746 | 2,038 | △ 292 |
| がん検診 | 34,533 | 34,749 | △ 216 |
| 胃がん検診 | 11,037 | 11,335 | △ 298 |
| 肺がん検診 | 476 | 464 | 12 |
| 肺がんCT検診 | 2,152 | 2,108 | 44 |
| 大腸がん検診 | 13,475 | 13,347 | 128 |
| 子宮頸がん検診 | 3,118 | 3,270 | △ 152 |
| 乳がん検診 | 1,904 | 1,930 | △ 26 |
| 前立腺がん検診 | 2,371 | 2,295 | 76 |
| 腹部超音波検診 | 1,842 | 1,884 | △ 42 |
| 骨粗鬆症検診 | 710 | 970 | △ 260 |
| 合 計 | 170,626 | 170,387 | 239 |

- ・ 一般健康診断（雇入時・定期・特定業務従事者・給食従事者の検便）
- ・ 特殊健康診断（じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等）
- ・ 指導勧奨による特殊健康診断（VDT作業・振動業務等）

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

(単位；件)

| 項 目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|----------------|---------------|---------------|-----------|
| 結核健康診断 | 10,106 | 10,275 | △ 169 |
| 寄生虫卵検査 | 3,943 | 4,503 | △ 560 |
| 尿検査（腎臓病、糖尿病検査） | 99,004 | 102,075 | △ 3,071 |
| 心臓検診 | 7,670 | 7,680 | △ 10 |
| 学校貧血検査 | 18,544 | 18,723 | △ 179 |
| 小児生活習慣病予防健診 | 2,791 | 2,841 | △ 50 |
| 合 計 | 142,058 | 146,097 | △ 4,039 |

④ 母子保健

新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療を目的に、タンデムマス法による新生児マススクリーニング検査を実施した。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業（個人負担を要する検査）として開始した。

また、令和4年度は宮崎大学と連携し、パイロット事業として、脊髄性筋萎縮症検査の無料検査を実施した。

(単位；件)

| 項 目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|----------------|---------------|---------------|-----------|
| 先天性代謝異常等検査 | 8,451 | 8,890 | △ 439 |
| 重症複合型免疫不全症 | 6,629 | 6,164 | 465 |
| ライソゾーム病 | 6,629 | 6,164 | 465 |
| 脊髄性筋萎縮症検査（SMA） | 4,704 | - | - |

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックを実施した。

(単位；件)

| 項 目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|-------|---------------|---------------|-----------|
| 人間ドック | 1,038 | 1,075 | △ 37 |

⑥ クリニック（個人の健康診断）

就職や進学時に必要な診断書作成のため、健康診断を実施した。

- ・一般健康診断
- ・就職、進学時健康診断
- ・腸内細菌検査

（単位：件）

| 項目 | 4年度 実施数(A) | 3年度 実施数(B) | 増減 A-B |
|-------|---------------|---------------|-----------|
| クリニック | 567 | 687 | △ 120 |

(2) 精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的で開催しているが、令和4年度は、前年度と同様、書面開催となった委員会がある。

<各種専門委員会（9部門）>

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、がん検診の精度必要な指標の取りまとめを行った。

（令和3年度 各がん検診のプロセス指標値）

（単位：％）

| 項目 | 胃がん | 肺がん | 肺CT | 大腸がん | 乳がん | 子宮がん |
|-------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 検診受診者数 A | 22,977 | 32,611 | 14,060 | 26,544 | 9,066 | 12,403 |
| 要精検者数 B | 811 | 474 | 290 | 1,743 | 325 | 291 |
| 要精検率 B/A | 3.53 | 1.45 | 2.06 | 6.57 | 3.58 | 2.35 |
| 精検受診者数 C | 668 | 433 | 262 | 1152 | 302 | 249 |
| 精検受診率 C/B | 82.37 | 91.35 | 90.34 | 66.09 | 92.92 | 85.57 |
| 発見がん数 D | 15 | 19 | 29 | 47 | 41 | 3 |
| がん発見率 D/A | 0.07 | 0.06 | 0.21 | 0.18 | 0.45 | 0.02 |
| 陽性反応的中度 D/B | 1.85 | 4.01 | 10.00 | 2.70 | 12.62 | 1.03 |

（令和4年度 各がん検診のプロセス指標）

| 項目 | 胃がん | 肺がん | 肺CT | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|----------|--------|--------|--------|--------|------|--------|
| 検診受診者数 A | 22,039 | 31,381 | 13,722 | 26,749 | 7401 | 10,819 |
| 要精検者数 B | 685 | 589 | 266 | 1,733 | 299 | 258 |
| 要精検率 B/A | 3.11 | 1.88 | 1.94 | 6.48 | 4.04 | 2.38 |

＜参考＞各がん検診におけるプロセス指標 許容値 (単位：%)

| 項 目 | 胃がん | 肺がん | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 要精検率 | 11.0 以下 | 3.0 以下 | 7.0 以下 | 11.0 以下 | 1.4 以下 |
| 精検受診率 | 70.0 以上 | 70.0 以上 | 70.0 以上 | 80.0 以上 | 70.0 以上 |
| がん発見率 | 0.11 以上 | 0.03 以上 | 0.13 以上 | 0.23 以上 | 0.05 以上 |
| 陽性反応的中度 | 1.0 以上 | 1.3 以上 | 1.9 以上 | 2.5 以上 | 4.0 以上 |

※厚生労働省：今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）より

＜参考＞ 日本対がん協会まとめ全国平均（令和3年度） (単位：%)

| 項 目 | 胃がん | 肺がん | 肺CT | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|---------|------|------|------|------|------|-------|
| 要精検率 | 5.2 | 1.9 | 2.6 | 5.6 | 4.6 | 1.5 |
| 精検受診率 | 79.2 | 81.8 | 76.2 | 65.9 | 89.7 | 80.4 |
| がん発見率 | 0.10 | 0.05 | 0.13 | 0.17 | 0.36 | 0.01 |
| 陽性反応的中度 | 1.86 | 2.51 | 5.28 | 2.98 | 7.85 | 0.84 |

③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器がん検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加した。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」「細胞検査士」や「日本乳がん検診精度管理中央機構」などの認定資格等の取得を目指した。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開した。

① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援した。

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていった。

| 内 容 | | 4年度実施数（人） | 3年度実施数（人） |
|-------------|----------|-------------|-------------|
| 特定 保健指導 | 動機付け支援 | 541人 | 549人 |
| | 動機付け支援相当 | 40人 | 18人 |
| | 積極的支援 | 474人 | 464人 |
| 一般保健指導 | | 226人 | 169人 |
| 講師派遣による健康講話 | | 2,990人（75回） | 1,871人（59回） |

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：「糖尿病予防」について

「小児生活習慣病予防」について

「生活習慣病予防」について

「ストレスコントロール」について

「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について

「野菜摂取向上など食生活」について 等

③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている個別の受診勧奨・再勧奨事業を企画したが、市町村からの要望がなく実施には至ってない。

（４）普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するなどの行動を積極的に実践するよう、県民に対し、健（検）診の啓発活動に取り組んだ。

① 健康情報の発信

- ・協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報を強化した。
- ・広報誌「サンテ宮崎」（年3回：各4,000部）の内容をさらに充実し、健康情報を発信した。
- ・テレビ・ラジオ等による情報発信（健康情報番組へ出演、情報提供）
コロナ感染拡大防止のため、街頭やイベントによる啓発が縮小されたためメディアでの啓発を主に行った。
UMK「キニナル」、ケーブルテレビ「きらり健康塾」、「ミュージックサプリ」「スクーパー」等出演
- ・新聞、機関誌による広告や情報発信
新聞広告「子宮の日」「世界禁煙デー」「県政新聞」「がん征圧月間」「心・血管病予防デー」「世界糖尿病デー」「宮崎県腎移植財団」「世界対がんデー」「きゅんと」に健（検）診の啓発記事を掲載した。
- ・小林市小学校「けんこうフェア」参加し、親子にがんについて啓発した。

② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

- ・県民向けの健康講演会や健康チェック等のイベントの開催

<子宮がん予防のための街頭キャンペーン>

「ひめやしの会（患者会）」と共同で4月9日の「子宮の日」の前後に子宮頸がん予防・啓発を行うため街頭キャンペーンを行った。

開催日時 令和4年4月9日（土）12：00～13：00

場 所 イオンモール宮崎 北入口（啓発物300セット配布）

<Karada Good Miyazaki フェスタ 2022>

イベントに行くついでに特定健診やがん検診を受診できるようフェスタ当日の午前中に健（検）診を行った。フェスタ会場（JAアズム）では健康チェック（握力・立ち上がりテスト等）やパネル等を行った。

開催日時 令和4年11月13日（日）10：00～16：00

来場者数 約5,000名

受診者数 63名（特定、後期、協会けんぽ、各種がん検診等）

・市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催

<第21回 健康づくりセミナー>

開催日時 令和5年3月8日（水）13：00～15：30

講 演 宮崎県立看護大学 川越 靖之先生

「子宮頸がんと宮崎県」

特別講演 作家・僧侶 家田 莊子

「自分らしく生きるために」～家田からのエール～

事業報告 宮崎県健康づくり協会 常務理事 湯田敏行

参加者数 100名

③ 他団体との連携による啓発

- ・宮崎県健康増進課制作の「がん検診受診率向上のための普及啓発動画」への出演協力を行った。（YouTube等でも発信）

④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・厚生労働省では、毎年9月24日～30日を「結核予防週間」と定め、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしており、結核予防会が周知ポスターやパンフレット「結核の常識」等を作成し、当協会が県内約700か所に配布した。また、「全国一斉複十字シール運動キャンペーン」（期間：8月1日から12月31日）では、街頭募金や結核予防の大切さを啓発した。

○Karada Good Miyazaki フェスタ、イオンモール宮崎、延岡にて街頭キャンペーンを開催し募金活動を行った。

令和4年度募金額 1,441,264円（募金目標額 1,760,000円）

○知事表敬訪問

結核予防普及啓発支援のため令和4年7月15日に知事表敬訪問を行った。

・がん征圧月間（9月）

日本対がん協会が毎年9月を「がん征圧月間」と定め、がんに関する正しい知識やがん検診の重要性などを訴える集中的な活動期間としており、当協会も啓発活動を行った。

○イオンモール宮崎、延岡にて街頭キャンペーンを開催した。

（がん啓発リーフレット、啓発グッズ等を300セット配布）

○市町村・学校・事業所に啓発ポスターを700か所に配布し啓発を行った。

○宮日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の4社にがん啓発の記事と広告を掲載し、朝日新聞特集に日本対がん九州地区支部長のコメントを掲載した

○宮崎県庁8号館に「9月はがん征圧月間です」の懸垂幕を掲示した。

○テレビCM放映（協会制作の15秒受診勧奨CMを12回/9月放映）

○MRTラジオ「スクーパー」に出演し、がん検診啓発を行った。

⑤ リレー・フォー・ライフジャパン 2022 宮崎の支援

・「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 宮崎」は、がん患者及びがん経験者を中心にその家族・友人・支援者たちが、同じフィールドトラックを24時間語り合いながら交代で歩き、がん征圧の大切さを社会に訴え寄付を募り、がん征圧のために役立てることを目指すボランティアによるチャリティーイベントである。

開催日 令和4年10月28日（土）・29日（日）（宮崎中央公園）

開催内容 大会・式典 10:00~22:00

サバイバズラップ 10:00~翌8:00

ルミナリエ点灯 18:00~翌朝

共 催 公益財団法人日本対がん協会

リレー・フォー・ライフジャパン宮崎実行委員会

⑥ がん検診無料キャンペーン（デジタルクーポン）

・日本対がん協会企画の「がん検診無料キャンペーン」に参加し、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんのデジタルクーポンを周知し、がん検診の受診率向上を図った。

・宮日新聞に「がん検診無料キャンペーン」の告知記事掲載

・チラシを作成し配布するとともに、ホームページにも掲載し周知した。

(5) 県委託事業等

① 宮崎県健康づくり推進センター管理運営等業務

健康づくりに携わる人材育成

・健康増進計画評価支援事業

計画や事業評価のための評価支援研修会開催や支援者育成研修会を開催
（実績：評価支援研修会 令和4年9月1日に集合及びオンラインにて開催）

支援者育成研修会 令和5年1月31日に集合及びオンラインにて開催)

- ・ 健診・保健指導従事者研修事業
特定健診・保健指導に係る技術的支援に関する研修会を開催
(実績: 初任者研修会 令和4年7月4日に対象者を限定して集合開催
経験者研修会 令和4年11月10日に対象者を限定して集合開催)
- ・ 母子保健指導員研修事業
地域の多様なニーズに即した母子保健サービスの提供への質の向上につなげるための研修会を開催
(実績: 令和4年10月4日に集合及びオンラインにて開催)
- ・ 健康づくり推進員等育成事業
推進員の資質の向上を図るとともに、各地域の実情に応じた取組の発表により好事例の波及を図るための研修会を開催
(実績: 令和4年9月16日にメディキット県民文化センターにて集合開催)
- ・ 食生活改善推進員育成事業
宮崎県食生活改善推進員協議会の運営を通して、野菜料理や減塩の普及・啓発を行うとともに、食生活改善推進員に対する研修会を開催
(実績: 令和4年6月1日にメディキット県民文化センターにて集合開催)
- ・ 運動指導者育成事業
運動指導に取り組む指導者育成のための実技を含めた講習会を開催
(実績: 令和4年12月15日に対象者を限定して集合開催)

健康づくりにおける情報発信・調査研究

- ・ 健康情報分析発信事業
市町村等の関係者が施策の企画立案や評価等に活用できるよう、宮崎県健康づくり推進センターホームページを通じて、健康づくりデータブック(宮崎県の人口、出生、死亡、平均寿命等)を更新した。
(令和4年度アクセス数 19,750件)
- ・ 地域健康推進研究事業
健康づくりに従事する職員の意識や技術向上を図るため、県内外の健康づくりに関する調査・研究の成果や先駆的な取組についての研究発表を令和4年5月26日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。このため、情報提供として健康づくりにおける調査研究に関する書籍を各市町村、保健所、関係機関へ送付した。

がん検診の受診率向上及び精度管理

- ・ がん情報分析・発信事業
県内のがん検診受診率、がんによる死亡者数など、がんに関するデータ

を分析し、「がんネットみやざき」を通じて情報を発信した。

「がんネットみやざき」については、セキュリティ対策強化とウェブアクセシビリティに配慮し、「誰もがより使いやすいホームページ」実現のための機能充実を図るため、全面リニューアルを行い、令和4年10月17日に公開した。

(令和4年度アクセス数 15,445件)

・がん検診受診促進事業「がん検診受診率向上プロジェクト」

官民共同でがん検診の受診率向上に取り組む「がん受診率向上プロジェクト」を実施するとともに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会事務局の運営を通して、乳がん検診の啓発等を行った。

(実績：職域におけるがん検診実施状況を把握するため、県内1,367事業所にアンケート調査を行った。

啓発資材として、クリアファイル・リーフレットを作成し、商工会等を通じて県内1,215事業所に配布した。

また、セキュリティ対策強化とウェブアクセシビリティに配慮し、機能充実を図るためにホームページの全面リニューアルを行い、令和5年3月20日に公開した。

「ピンクリボン活動みやざき」の賛同団体とともにピンクリボン活動の企画及び運営を行った。

啓発資材として、ピンクリボンシールやポケットティッシュ、リーフレットを作成し、賛同団体等に配布した。また、乳がん月間(10月)にバナー装飾などで啓発を行った。令和3年度に設立した乳がん患者への助成金応援事業(たちばな基金)を継続)

・生活習慣病検診管理指導協議会運営事業 (胃・肺・乳・子宮・大腸がん)

生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診実施機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的に、協議会の運営を行った。

(実績：年2回(10月、4月)のがん検診実施機関及び精密医療機関の登録を行った。

各がん検診精度管理調査の結果をとりまとめ、令和4年8月から10月にかけて、各がん部会(胃、大腸、肺、子宮、乳の5部会)を開催した。)

② 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

糖尿病対策における保険者や医療機関の取組を把握し、経年比較や各団体及び医療圏ごとに取組を整理することにより、各団体及び医療圏等の今後の課題を抽出し、取組をさらに推進することを目的に実施。

(実績：医療機関及び保険者に対する調査票の送付・回収及び集計・分析、NDBデータの集計・分析及びNDBオープンデータレセプトデータの集計、慢性透析患者等の集計など)

③ 事業所への定期歯科健診推進事業

定期歯科健診を実施する事業所を増加させ、県民が定期歯科健診を受診できる機会の増加を図るとともに、健康経営の一環として、事業所が定期歯科健診を実施するメリットの周知を図った。

(実績：事業所向け研修として、令和4年11月1日に医療保険者が実施する衛生管理者等研修会の中で、歯科口腔保健に関する講演を行った。また、県内の従業員数50人以上の事業所(住所等のデータが得られた552事業所)にチラシを配布するとともに、商工会議所等協力得て、会報等に歯科健診に関する啓発広告を掲載した)

④ 宮崎県がん登録事業

宮崎県におけるがんの現状を把握・解析し、総合的ながん対策に役立てるため、宮崎県下全域の居住者に発生した全てのがんについて、その発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報を収集登録した。(これまで宮崎県が宮崎大学に委託していた事業を令和4年11月1日から当協会が引き継ぐこととなった)

(実績：がん患者罹患情報の登録、遡り調査、国立がん研究センター、全国がん登録協議会への情報提供、登録した情報の集計及び解析等(2018年宮崎県がん登録報告書の作成)、がん登録に係る指導及び普及啓発等を行った)